トヨタ自動車北海道(株)
健康経営の取り組みについて

2023年10月
総務部安全健康推進室

トヨタ自動車北海道 健康宣言

当社は「モノづくりは人づくり」を基本に、従業員が最も貴重な経営資源であるとの認識に立ち、従業員一人ひとりがその能力を遺憾なく発揮し、意欲的に仕事に取り組んでいくベースとして、心身の健康が最も大切なものであると考えます。

明るく元気にイキイキと働けることは、個人の仕事の成果や成長を生むばかりではなく、職場の活性化や会社の業績向上、発展に繋がっていきます。

従業員が常に自らの健康を意識し、健康維持・増進に更に取り組んでいけるよう、今後も積極的に支援し、心身ともに健康な人づくり・会社づくりを推進していくことを宣言します。

トヨタ自動車北海道株式会社

取締役社長　北條　康夫

心身ともに健康な人づくり・会社づくりを通して目指す姿

企業が持続的に成長していくためには、従業員の心身の健康維持・増進が
重要な経営課題であるとの認識のもと、健康経営を推進しています。

従業員

明るく元気に
イキイキと働く

↑

健康維持・増進

↑

健康意識の向上

企業

企業の持続的発展

↑

企業の業績向上

↑

生産性の向上

労働衛生
環境整備
（作業負荷低減、労働時間管理、明るい職場づくり等）

健康づくり推進
（運動・栄養指導）

健康管理
（健康状態の把握・指導）

関連するSDGs

方針

“トヨタ自動車北海道 2025年ビジョン”の実現に向け、**健康課題に対する方針**を掲げています。

会社方針

【2025年ビジョン】
■チームトヨタそして北海道になくてはならない会社になる
・活気にあふれ思いやりのある職場を作る

【今年度重点方策】
■安全・健康を最優先する文化・風土・人づくり
・健康で活気あふれる職場づくり、感染症対策の推進

健康方針

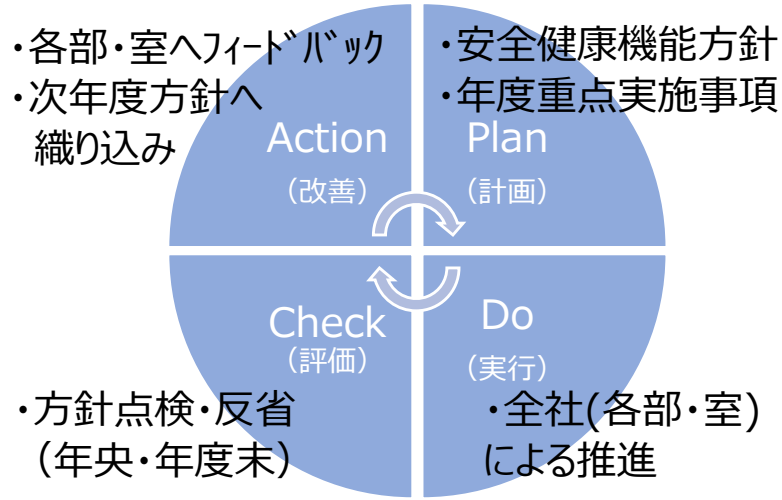
・チャレンジ８・・・平均６項目以上
・メンタルヘルス・・・新規発生者率：0.48%以下、再休養者率：0.28%以下

各部・室方針

・上位の方針にもとづき、職場の実態にあわせて方針策定

推進体制

心身ともに健康な人づくり・会社づくりを推進するために、安全衛生委員会において諸施策の審議・決定、進捗の確認、評価を行っています。



安全衛生委員会
（1回/月）

■健康諸施策の審議・決定、進捗の確認、評価
・議長：社長（総括安全衛生管理者）
・委員：役員、各部長、産業医、労働組合

安全健康推進室

■事務局として、専任スタッフによる企画・推進
・産業医：常勤2名・非常勤1名
・保健師：4名
・管理栄養士：2名
・臨床心理士（委託）：1名
・スタッフ：5名

各部・室・課

■部・室・課長や衛生管理者を中心に取り組みを推進

連携

トヨタ健康保険組合

・コラボヘルス
・健康施策支援
（健康ｽｺｱﾘﾝｸﾞﾚﾎﾟｰﾄ）

全豊田安全衛生研究会

・安全・健康課題へ
ｸﾞﾙｰﾌﾟとしての
取り組み
・各種情報交換

健康増進施策：健康チャレンジ８

＜概要＞

・普段の生活の中で現状よりも「一つでも多く」あるいは　いま実践できている健康習慣の「もっといい健康づくり」にチャレンジする活動

・活動へ参加する従業員に対し、健康増進手当を支給（’21年度～）

【項目と基準】

① 適正体重	② 朝食	③ 飲酒	④ 間食
BMI25未満	毎日食べる	飲まないか １日１合まで	夕食後、 寝るまでの間食は 週2日以下
⑤ 禁煙	**⑥ 運動**	**⑦ 睡眠**	**⑧ ストレス**
禁煙している	１日30分 以上の運動を 週１日以上	熟睡 できている	多いほう ではない

健康増進施策：健康チャレンジ８

＜BMI低減＞

従業員の平均年齢上昇に伴い、BMI≧25の割合も上昇する傾向にあります。

会社内ジムの整備をはじめ、各種運動イベントの開催等、BMI低減に積極的に取り組んでいます。

▽ 会社内ジム（福利厚生施設）

▽ウォーキングイベント

全従業員を対象に、期間中の歩数を競う通年イベントを開催（年8回）。※景品総額年間100万円

運動や活動の基礎となる「歩行」を通して、運動習慣のきっかけや重要性に気づく機会としています。

健康増進施策：健康チャレンジ８

＜BMI低減＞

▽食生活改善

・健康な食事の提供：会社食堂にてスマートミールの提供（‘21年度 ☆☆☆取得）
・栄養改善　　：野菜摂取促進キャンペーン
・構内自販機　：糖分レス・カロリーゼロのお茶・水・炭酸水へ変更

Smart Meal
スマートミール

▽ スマートウォッチキャンペーン

運動・睡眠・ストレスを見える化を目的に希望者にスマートウォッチを着用
参加者402名中全員チャレンジ8スコアアップ、参加者95%以上が「良い」「まあまあ良い」の感想

▽ アスリートイベント（2015～2019年）

楽しみながら運動を始めるきっかけづくりとして、オリンピック金メダリスト、元プロ野球選手、元プロサッカー選手等を講師に招いた運動イベントを開催しています。

▽ 特定保健指導

対象者に対して、きめ細やかな特定保健指導を実施しています。法定の40歳を待たずに意識付けとして39歳から生活習慣に対しての注意喚起のレターを送付しています。

健康増進施策：健康チャレンジ８

＜喫煙率低減＞

2012年に策定した「禁煙ロードマップ」に基づき、計画的に喫煙率低減活動に取り組んでいます。
2020年より、駐車場を含む敷地内完全禁煙を実施しています。

▽ 禁煙ロードマップ

項目	実施事項/年度	2007	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
喫煙ルール	喫煙所屋外化	★										
	喫煙時間の設定（始業時、昼休み、終業時）		★									
	職制の敷地内禁煙				★							
	禁煙日の設定（2のつく日）				★							
	屋外喫煙所削減(17か所⇒6か所)						★					
	敷地内完全禁煙（駐車場含む）										★	
	駐車場喫煙パトロール実施											★
禁煙支援	禁煙チャレンジャー募集		★									
	禁煙外来補助			★								
	禁煙グッズ購入補助				★							
	同居家族への補助							★				
	健康維持・増進手当支給									★		
	オンライン禁煙プログラム										★	

健康増進施策：健康チャレンジ８

＜喫煙率低減＞

▽ 禁煙出前講座・語りかけ寄り添い活動

各職場に出向いた禁煙啓発や、全職制・全喫煙者への禁煙面談を実施しました。

▽ 禁煙講演会 開催

・産業医による禁煙講演会を開催しました。

・講師に産業医科大学の大和 浩 教授をお招きし、禁煙講演会を開催しました。
（‘19年度　参加者数：93名）

▽ 禁煙サポート

オンライン禁煙プログラムや禁煙外来の受診費用補助、禁煙ガム・パッチ支給等

禁煙したい方のサポートに積極的に取り組んでいます。（2022年度　40名参加）

また、喫煙しない方を対象に、健康維持・増進手当を支給しています。（‘19年度～）

▽ 会社敷地内全面禁煙

‘20年4月より構内全面禁煙、6月より駐車場を含め会社敷地内全面禁煙

としています。その取り組みが評価され、苫小牧市から「空気もおいしい施設」に

製造業として初めて認定されました。

健康増進施策：健康チャレンジ８

＜メンタルヘルス＞

当社ではメンタル不調未然防止のため、ストレスチェックの実施やメンタルヘルス研修を通して、
セルフケアおよび、ラインケアにつなげています。

また、職場コミュニケーションを促進し、明るい職場づくりにつなげるための各種行事も開催しています。

▽ ストレスチェック実施

実施率100%達成（'17年度～）

▽ メンタルヘルス研修

階層別教育の一環で、セルフケア・ラインケア研修を実施しています。（'21年度～e-ラーニング化）

'20年度からは、外部講師によるアンガーマネジメント研修およびレジリエンス研修も導入しています。

▽ こころとからだの相談室 設置

相談内容厳守で、産業医・保健師に直接悩み相談ができる専用電話・メールを設置しています。

（'21年度～外部相談窓口設置）

▽休職者支援（復職に向けて）

厚生労働省のマニュアルに沿った対応をしています。

健康増進施策：その他

▽ 健康診断

法定以上の従業員の健康診断(定期,特殊,雇入れ時)100%実施。

定期健診は会社敷地内の健診センターにて、業務中に行います。

【法定以上項目】

健診名	項目
定期健診	総コレステロール、尿酸、eGFR、便潜血検査、PSA、乳がん検査・子宮がん検査（36歳以上の女性従業員全員対象）
節目健診（36歳以降4年毎、従業員と被扶養者に対し実施、出張扱い）	胃がん検診、乳がん検査、子宮がん検査、腹部エコー検査、胸部CT検査、内臓脂肪面積検査

▽ 受診勧奨

健診結果返却で個別指導をする際に、精密検査等の受診勧奨を実施。

節目健診時には、脳ドック・婦人科検診・歯科検診といった、トヨタ健保が補助を行っている健診を受診勧奨しています。

▽ 再検査費用補助

下記の項目で有所見があり再検査が必要な方に、業務上出張での受診、費用補助（上限有り）を実施。

【対象項目】

胸部レントゲン・便潜血・胃バリウム・腹部エコー・頸部エコー・子宮・乳がん・PSA

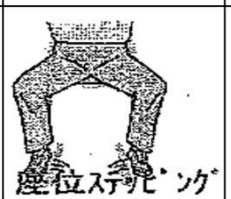
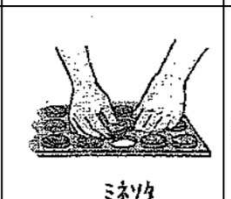
健康増進施策：その他

＜エイジフレンドリーガイドライン※対応＞

▽ アクティブ60

定年後も活き活きと元気に働くための体力維持向上活動の一環として、50歳以上の従業員を対象に体力の気づきを促す「体力の見える化」と日々の生活の中で行える運動のアドバイスを行っています。

■測定項目

上腕ﾁｪｯｸ	肩ﾁｪｯｸ	座位体前屈	2ｽﾃｯﾌﾟ	足把持力	反復立上り	ｽﾃｯﾋﾟﾝｸﾞ	ﾐﾈｿﾀ	握力
								

※厚生労働省が定めるガイドラインで、高年齢労働者の健康づくりを推進するために、
高年齢労働者を雇用する事業者と労働者に取組が求められる事項。

健康増進施策：その他

＜職場活性化＞

▽ ファミリースポーツフェスタ（全社）

家族も参加する全社運動会で、競技・屋台での飲食・遊具でのアトラクション等、
楽しみながら親睦を深め、職場の一体感を高めています。

▽ 職場会行事（各職場）

職場や職層ごとに、親睦旅行・スポーツ・文化行事・飲食等のイベントを開催し、
明るい職場づくりにつながっています。

▽ 職場対抗長縄跳び大会

職場活性化・職場コミュニケーション向上を図り、運動を始めるきっかけとして
手軽に参加できる大縄跳び大会を行っています。

各種健康指標

項目		2022年度	2021年度
定期健診受診率		100.0%	100.0%
精密検査受診率		71.3%	65.4%
特定保健指導実施率		92.3%	87.3%
適正体重維持者率 ※BMIが18.5～25未満の者		59.1%	59.7%
喫煙率		38.1%	39.6%
ストレスチェック受検率		100.0%	100.0%
高ストレス者率		19.9%	15.8%
高血圧者率		11.5%	10.5%
高血圧のうち治療中率		82.5%	75.6%
離職率		1.4%	1.0%
残業 （年間延べ発生人数）	45時間/月超	385人	672人
	80時間/月超	17人	1人
平均勤続年数		15.2年	14.2年

項目	2022年度	2021年度
一人当たりの年間医療費	348千円	319千円
プレゼンティズム(WHO-HPQ)	74点	73点
対象人数	3113名	3302名
回答率	90%	96%
アブセンティズム ※4日以上連続した欠勤日数を 従業員数で割った平均日数	2.4日	2.4日
対象人数	2707人	2548人
ワークエンゲージメント (ﾕﾄﾚﾋﾄ･ﾜｰｸ･ｴﾝｹﾞｰｼﾞﾒﾝﾄ尺度)	2.6点	2.3点
対象人数	3113名	3302名
回答率	90%	96%
年休取得率	106.0%	101.0%
健康チャレンジ8　平均実践項目数	6.08	5.11

社会的評価　等

ホワイト５００認定取得
（6年連続）

2023
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

スポーツエールカンパニー2023
認定取得

SPORTS
YELL
COMPANY
2023

スマートミール認証
☆☆☆取得

Smart Meal
スマートミール

「FUN＋WALK PROJECT」
に賛同しています。

FUN
+
WALK
PROJECT